

平成30年7月3日

会員各位

協会だよりー307(7月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第236回(一泊研修会)の開催
日時：平成30年7月13日(金)～7月14日(土)
見学先：パンパシフィック・カップ(株)佐賀製錬所
宿泊先：ホテル三泉閣(大分県別府市北浜)
参加会社数：29社(41人)



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 事務局より(七月度の予定)
【予定事項】
- 三. 【雑字】太田道灌の銅像を巡って
(1)(小林尚道氏投稿)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー306(6月号)をHPに更新及び各会員にメールで送信(6/05)
- ② HPの更新
会長挨拶：安田新会長の挨拶掲載
最近の活動：233回～235回月例会内容を追加
- ③ CMAJ・JCRAとの幹部交流会の開催
日時：平成30年6月19日(火)18:00～20:00
場所：JXTGグループ六本木クラブ
出席者(敬称略)：
【JCRA：触媒資源化協会】
会長 安田豊(JX金属(株)執行役員 環境リサイクル事業本部長)
副会長 林光蔵(田中貴金属工業(株)化学回収カンパニーリサイクル化製品営業部部長)

副会長 永井俊一（ミヤマ㈱営業本部本部長）
 理事 野口綱夫（エヌ・イー ケムキャット㈱化学触媒営業部主査）
 専務理事 角田英夫

【CMAJ：触媒工業協会】

会長 岡田功（エヌ・イー ケムキャット㈱代表取締役社長）
 副会長 一瀬宏樹（㈱キャタラー取締役兼専務執行役員研究開発本部本部長）
 副会長 吉田次郎（日揮触媒化成㈱取締役営業本部長）
 運営委員長 水澤浩二（日揮触媒化成㈱営業本部営業企画グループ主席）
 技術委員長 小川芳規（川研ファインケミカル㈱ファイン事業部営業開発部 SC 営業
 グループ課長）
 事務局長 岩田泰夫

〔予定事項〕

① 第236回（一泊研修会）の開催

日時：平成30年7月13日（金）～7月14日（土）
 見学先：パンパシフィック・カッパー㈱佐賀製錬所
 宿泊先：ホテル三泉閣（大分県別府市北浜）

② 第2回運営委員会の開催

日時：平成30年7月19日（木）16：00～17：00
 場所：堺化学工業㈱東京支店会議室（ザイマックス岩本町ビル）
 議題：第236回月例会の反省会と9月の共催打合せ

2. 事務局（7月度の出勤予定）

出勤予定：10日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	×	●	×	●	×	×
8	9	10	11	12	13	14
×	×	●	×	●	●研修会	研修会
15	16	17	18	19	20	21
×	×	●	×	運営委員会	×	×
22	23	24	25	26	27	28
×	×	●	×	●	×	×
29	30	31	8/1	8/2	8/3	8/4
×	×	●	×	○	×	×

（文責：専務理事）

3. 【雑学】太田道灌の銅像を巡って（1）

伊勢原カントリークラブのバスは伊勢原駅北口より発着している。駅を出て途中、東名高速道路下を潜った先に「道灌塚」のバス停がある。伊勢原カントリーに行く度、常々この近くに道灌さんのお墓があるのだなと思っていたが、この度やっと歴歩会のハイキングで上粕屋の蟠龍山洞昌院に祀られる道灌さんの墓をお参りすることが出来た。さて一般の方にとって太田道灌とは「江戸城を築城した人」及び鷹狩りの途中、雨宿りをした時、少女に山吹の花を捧げられ「蓑ひとつだに無きぞ悲しき」の人くらいであろうか？私もその程度の知識であった。しかし昨年、埼玉県寄居町の「鉢形城址」を見学した時、鉢形城は関東管領山内上杉家の家宰（家老&執事職）の子息・長尾景春が築城した城であること、景春は家宰になれなかったことを恨み、この城に立てこもって主家に反乱を起こしたことを「長尾景春の乱」といい、この乱を治めたのが扇谷上杉家の家宰である太田道灌であることを思い出した。太田道灌公の銅像は関東各地の11ヶ所に建立されているが、そこに建立される理由は何なの？と疑問に思い建立地を尋ねることにした。思い立ったのは上粕屋の洞昌院に祀られる道灌さんの墓をお参りしたことが出発点である。では道灌さんの銅像建立地めぐりに出発しよう。



① 【伊勢原市役所前の銅像】 神奈川県伊勢原市田中 348

まずは伊勢原市役所前銅像をスタートとしよう。伊勢原市役所は小田急伊勢原駅北口より徒歩で15～20分程の所にある。近くには伊勢原協同病院（JA 神奈川厚生連）と国道246号を渡った所に東海大学医学部・付属病院が立地し、近辺は官公庁街の一角である。太田道灌公銅像台座の銘版記載文章が道灌さんの生涯が簡明に記載されているので紹介する。

生まれたのは伊勢原糟屋か鎌倉扇谷の説があるが、どちらの説を採っても相州（神奈川県）であるようだ。

太田道灌公

文武の智将太田道灌公は永享4年（1432）相州に生まれ幼名を鶴千代、元服して持資、27才で入道して春泡道灌と号した。少年時代から雄偉武略にすぐれ又文学に心をよせ寛正5年（1464）後土御門天皇に和歌を以って奉答したことは広く人々の知るところである。

長禄元年（1457）弱冠27才で江戸城を完成ついで川越、岩槻の2城を築き、主家扇谷上杉定正の勢威は急に高まった。一方山内上杉顕正はこれを心よしとせず、道灌を陥れようと密かに策をめぐらし定正をそそのかした。不覚にも定正はこれを信じ、ここ相州糟屋の館に道灌を招き、入浴のすきに乗り刺客曾我兵庫の一団に討たせた。

時に文明18年（1486）7月26日 享年55才

伊勢原市役所と市役所前の太田道灌公銅像

② 【東京国際フォーラム内の銅像】 東京都千代田区丸の内3-5-1

東京都庁舎が新宿に引っ越す前の丸の内に有った時、太田道灌が江戸城を築城してより開都500年を記念して、昭和31年（1956）銅像を作成、旧丸の内第一庁舎前に建立された。平成3年（1991）新宿への都庁移転、丸の内の跡地に平成9年（1997）東京国際フォーラムが完成したとき、銅像はガラス館内に移設設置された。銅像の正面（目線）は江戸城（現・皇居）を向いているそうだ。道灌さんは江戸城を築城した都の始祖であるから、ここに銅像が有のも十分肯けることだ。

③ 【日暮里駅前の銅像】 東京都荒川区西日暮里二丁目



東京国際フォーラムガラス館と太田道灌公銅像

平成元年（1989）日暮里駅東口の広場に、山吹の里伝説に基づいた「回天一枝」（当時の鈴木俊一知事が揮毫）の銘版がある騎馬像が建立された。

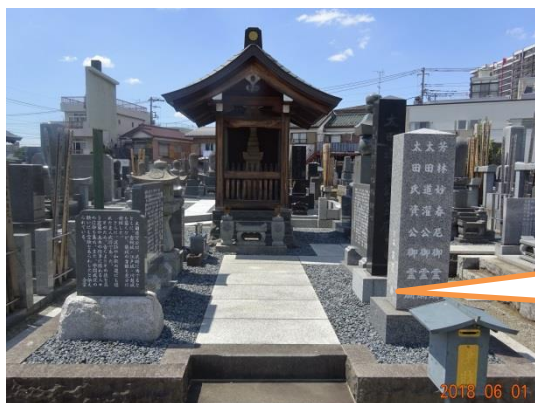
日暮里の読み方は（ひぐれのさと）から来ていると言われている。西日暮里の「道灌山」の地名は、道灌が江戸城の北に位置する高台に砦を築いたことに由来していると言われている。上野の山(台東区)より道灌山(荒川区)、飛鳥山(北区)が連続した高台になっているので江戸城の防衛線としてなっていたのであろうか？日暮里も道灌さんに縁の深い場所であったようだ。



日暮里駅東口と太田道灌公銅像

④ 【芳林寺境内の銅像】さいたま市岩槻区本町 1-7-10

文明 18 年（1486）、道灌さんが上杉定正の糟屋館で暗殺された際に、道灌さんの遺骨や遺髪を芳林寺（さいたま市岩槻区）と龍穩寺（越生町）に納められたと言われている。岩槻は道灌さんが築城したといわれる江戸城、岩付城(岩槻城)、河越城（川越城）の一つ岩付城がある処である。岩付城は、道灌さんの親方衆・関東管領上杉家と古河公方の対立する最前線と言われている。大宮より東武アーバンパークライン（東武野田線の新名称？）で五つ目の駅が岩槻駅である。芳林寺は駅より徒歩で 5～10 分ほどの場所にある。



曹洞宗太平山芳林寺は岩付太田家の菩提寺とされ、太田道灌公御霊廟がある。併記して太田氏資（おおたうじすけ）公御霊廟がある。天文 11 年（1542）太田資正（おおたすけまさ）の嫡男として生まれ、岩付城々主となり、上杉を離れ北条氏康に付く。

太田道灌公と太田氏資公の御霊廟が建立されている。



芳林寺境内の太田道灌公狩姿と騎馬像

⑤ 【旧岩槻区役所内の銅像】 さいたま市岩槻区本町6丁目220

旧岩槻区役所の敷地では、現在「岩槻人形博物館」の建設が進められている。工事のため、道灌公銅像はフェンスで囲まれ、敷地内へ関係者以外の立入りが禁止されている。現場入口のガードマンが、「来年博物館が完成したら立ち入りが出来ますよ」言いましたが、町田市からやって来たので何とかありませんか？とお願いしたら、「カメラを貸してくれたら、自分が撮ってきてあげますよ」とのことをお願いしたのが、道灌さんの銅像写真である。



来春完工・岩槻人形博物館の工事現場



旧岩槻区役所内の太田道灌公銅像



親切なガードマンさんの御かげで、写真を確保することが出来た。ガードマンさん有難う！道灌さんの築城した岩付城跡は、現在一部が岩槻城址公園となっているので訪問する。

（次号へ続く）

【執筆：小林尚道】